

女性・母子の居場所づくり及び相互エンパワメントのためのコミュニティ創出事業 【長野県上田市】

地域の実情と課題

本市の20歳未満の子どもがいる母子世帯は、一定の世帯数で推移し、H30年で1,859世帯となっており、また父子世帯は増加傾向にある。H29年に県が実施した「長野県子ども子育て家庭の生活実態調査」によると本市を含む近隣地域では生活困窮家庭の割合が11.1%と県全体の割合を上回っている。生活困窮家庭は自ら困難を訴えることが少ないことから、早期発見、早期支援に努め、社会的孤立に陥ることのないよう、相談事業の充実を図り対策に取り組む必要がある。

事業の特徴

- ①困難を抱える女性・母子の居場所づくり
困難を抱えた女性・母子が悩みや不安を相談でき、一時的または必要に応じて宿泊も可能な居場所の提供を行った。
- ②LINEによる相談とソーシャルワーク事業
LINEを活用した相談受付と、面談、各種手続きへの同行支援、必要に応じて関係機関に繋ぐなど、きめ細かい相談支援を行った。
- ③相互エンパワメント事業
相談者の方のエンパワメントに繋がるような、相談者同士の交流や支え合い、相互扶助を目的としたピアサポートグループを開催した。
- ④人材育成事業
相談者の方が自らの経験を人前で語り、参加者に発信することで、支えられる側から支える側になり、自身の居場所の確立や自立へ向かうことを目的として研修会や講演会を開催した。

事業の効果

- ①困難を抱える女性・母子の居場所づくり②LINEによる相談とソーシャルワーク事業
LINEによる相談件数は目標値100件を多く超え283件、一時宿泊数も目標値100泊を超え211泊となり、多くの困難を抱えた女性や母子が相談に繋がり、安心できる居場所としても利用して頂けたと考えられる。
- ③相互エンパワメント事業④人材育成事業
相談者同士の交流やエンパワメントに繋がるピアサポートグループ、相談者の方の自立に繋がる人材育成事業は実施回数も参加者も目標値を超え、相談者同士が支え合う姿や、相談者自らが人前で自身の経験を語る中で、少しずつ自立に向かっていく様子が見受けられた。

目的・目標

【目的】

従来の窓口や電話による手法では相談に繋がりにくかった若い世代の方が相談しやすくなるよう、LINEを活用した相談業務を展開。相談場所だけではなく、物理的な安心できる居場所の提供を行った。また相談者同士の支え合いや相談者の方に研修会等の場で自身の経験を話してもらうことでエンパワメントされることを目的とした。

【目標】

- ◎社会全体を「男女平等である」と回答した人の割合
目標 20%(R7年度) 現状 12.7%(R2年度)
- ◎一時宿泊数 目標100泊→実績211泊
- ◎LINEによる相談件数 目標100件→実績283件
- ◎ピアサポートグループ参加者数 目標25人→実績179人
- ◎ピアサポートグループ開催回数 目標5回→実績18回
- ◎人材育成事業研修会回数 目標2回→実績2回
- ◎人材育成事業研修会参加者の満足度
目標80%以上→実績1回目88%2回目56%

連携団体

庁内関係課(人権男女共生課・市民課・福祉課・高齢者介護課・子育て子育て支援課・健康推進課・障がい者支援課・収納管理課・国保年金課・地域雇用推進課・商工課)、ハローワーク上田、上田市社会福祉協議会、上田保健福祉事務所、医療機関、まいさぼ上田、にんしんSOSながの、NPO法人リベルテ等

今後の課題

LINEによる相談件数、一時宿泊数ともに目標値をはるかに上回ったが、それだけ不安や孤独、困難を抱えた女性や母子が多くいる現状を表しており、今後も引き続き官民連携して相談体制を強化していく必要がある。相談者の方の中に、本当は家を離れて休息したい気持ちがあり、一時的または宿泊の利用を希望しているにもかかわらず、育児や介護中であるなど様々な事情や背景により、家を離れること自体が難しく、踏みとどまる方が見られた。相談者を取りまく状況も一人ひとり違い、総合的な支援が必要なケースも多く、根本的な問題の解決をどのようにしたらよいのか課題が残った。

事業の概要

- ① 困難を抱える女性・母子の居場所づくり事業
- ② LINEによる相談とソーシャルワーク事業

悩みや不安、困難を抱える女性・母子からLINEで相談を受け、その後面談をして、必要に応じて関係機関に繋ぐ、各種手続きに同行するなど、相談者に寄り添ったきめ細かい支援を行った。一人の時間を持ちたい方や、休息が必要な方に、宿泊も可能な安心できる居場所「やどかりハウス」を提供した。



③ 相互エンパワーメント事業

相談に繋がった方や、「やどかりハウス」の利用者の方、また同じ悩みを持つ方同士の交流の場である「ピアサポートグループ」を開催。

当事者同士であるからこそ、相手の話を聞き、自身の悩みも話すことができるなど、相互に支え合い、ともにエンパワーメントされることを目的とした。



- 【開催日】
令和3年10月15日
11月9、10、18日
12月7、17、28日
令和4年1月1～3、18、25日
2月1、8、15、23、24日
3月4、6、8日

④ 人材育成事業

相談者の方が、人前で自身の経験を話し、参加者に気づきを与える立場になることで、支えられる側から支える側となり、自身の居場所の確立、ひいては自立へのきっかけとなるよう研修会を開催。



- 【開催日】
令和3年10月23日
令和4年2月10日